２００８年4月２３日

市川市長千葉光行様

緑のみずがき隊
市川緑の市民フォーラム
真間川の桜並木を守る市民の会

大柏川流域の「水と緑の回廊(コリドー)」の市民政策提案書（第一次）

大柏川流域は市川の東北部に位置し、かつては台地に梨園などの耕作地や山林、大柏川沿いの低地に水田が広がっていましたが、昭和４０年代以降、水田が消失し住宅や霊園の開発が進みました。現在でも市域の中で比較的自然の豊かな地域ですが、都市化の進展に伴って、自然環境の分断・縮小・消失が進み、多くの生きものの生息･生育空間が孤立してきています。

私達は、三十年に及ぶ真間川の環境保全、北方遊水池の自然環境復元、休耕田の再生と環境教育など、暮らしの視点から自然と文化を守り育てたいと地道に取り組んでまいりました。これら活動を通じて、個々の保全だけでなく残された自然環境を「水と緑」でネットワーク化し地域全体の生態系のポテンシャル（生きものの生息・生育環境の質、種多様性）を向上させる総合的な対策が必要であるとの認識に至りました。つまり、多くの生物種を保全するためには、種の供給源となる一定規模以上の水辺や樹林、草地などを確保するとともに、それらを相互に連結して生きものの生息･生育空間を保全・再生・創出し生物の移動を保障する「水と緑の回廊(コリドー)」が不可欠であると、痛感しております。

このため、私達は、2006 年２月、貴職に「大柏川流域の『水と緑の回廊(コリドー)構想』の提案書」を提出いたしました。その後、同年８月～2007 年４月に同構想を４区域に分けて現地見学会「水と緑の探検」を４回延べ 99 人の参加で行い、さらに 2007 年７月からはこれら見学結果を基に検討会（2008 年２月現在までで４回実施）を重ね、『水と緑の回廊基本計画』をまとめてまいりました。

この『水と緑の回廊基本計画』は、前述の構想に基づき、自然と人とが共存し、市民が暮らしの中で生きものと豊かにふれあえる場を保全･再生･創出する「まちづくり」を、区域毎に短期・長期の政策に分け具体的に事業として明示しています。ここに、私達は、大柏川流域の『水と緑の回廊基本計画』を立案するとともに、市川市が実施すべき事業を市民として政策提案いたします。

市川市は市民憲章で二本柱の一つとして「クリーングリーンいちかわ」を掲げております。また、都市計画マスタープランなど「まちづくり」の基本となる計画で、市川市北東部では「豊かな自然環境を大切に育み、自然と歴史と共生した住みやすいまちづくり」が謳われております。貴職におかれましては、この提言の主旨をお汲み取りくださいまして、是非前向きに取り組んでいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、今提言は全４回の大柏川流域の「水と緑の探検」の内で第１回と第２回の区域の分を第一次として提出いたします。第３回と第４回の区域は別途に後日、第二次提言とさせていただきます。

連絡先：

緑のみずがき隊	事務局・水垣嘉孝	市川市東菅野３-11-5-102	047(332)8004
市川緑の市民フォーラム	事務局長・佐野郷美	市川市曽谷７-24-3	047(373)3219
真間川の桜並木を守る市民の会	事務局・鳥居雪子	市川市八幡６-9-6	047(333)0852

目次

1. 長田谷津（大町自然公園）等「支線軸」の自然環境保全・再生・創生計画
【短期政策】
１）自然観察園の斜面林維持管理マニュアル作成計画
２）バラ園の移転と自然環境復元計画
３）噴水池の自然環境復元計画
４）総武霊園緑化計画
【中期政策】
１） 市川市斎場内及び市川霊園斜面林下道路せせらぎ緑道再生・創生計画

２．親子ふれあい農園等「水と緑の拠点」自然環境保全･再生･創出計画
【短期政策】
１）水田の取水口改善計画
２）水田の冬季潅水計画
【中期政策】
１） 総武霊園下流コンクリート水路の自然水路改修計画

３．花池谷津（大野町四丁目）等「支線軸」の自然環境保全・再生・創生計画
【短期政策】
１） 花池谷津の保全・再生・創生計画
２） 花池谷津及び谷津下流北側斜面林下水路の再生計画

４．柏井青少年の森・姥山貝塚公園等「緑の拠点」自然環境保全・再生・創生計画
【短期政策】
１）柏井青少年の森保全・再生計画
２）姥山貝塚公園の展示改良及び斜面林保全計画
【中期計画】
１）千葉県葛南広域公園計画
２）表谷津斜面林及び湧水池の保全・再生計画

5.大柏川第一調節池等「水と緑の拠点」自然環境保全・再生・創出計画
【短期政策】
１）柏井調節池自然環境再生･創出計画
２）大柏川第一調節池緑地自然環境復元計画
３）大柏川第一調節池緑地の運営管理マニュアル作成計画
【中期政策】
〔大柏川中流域「水と緑」総合計画〕
１）柏井町調整池自然環境再生･創生計画―前項「短期政策」参照
２）大柏川第一調節池緑地自然環境復元計画―前項「短期政策」参照
３）北方ミニ自然園保全計画
４）北方総合公園計画
５）地域緑道計画

私達、緑のみずがき隊・市川緑の市民フォーラム・真間川の桜並木を守る市民の会は、大柏川流域の「水と緑の回廊構想」を基に必要な具体的事業を洗い出して同基本計画を作成しました。市川市が自然環境の保全・再生・創生について、以下の事業を実施するよう、提案いたします。

なお、各事業は、地区毎に、次のように短期と中期の政策に分けて示します。

① 短期政策―早急に実施しなければならない箇所、予算が余りかからず市民協働で実施できる箇所、条例等で解決できる。

② 中期政策―重要かつ緊急性があるが、計画検討に時間がかかり、かつ予算が必要となる。

大柏川流域の「水と緑の回廊（コリドー）基本計画」及び大柏川流域「水と緑の回廊（コリドー）構想」、水と緑の探検報告書も合わせてご覧ください。

1. 長田谷津（大町自然公園）等「支線軸」の自然環境保全・再生・創生計画

―大町公園・市川市斎場・市川市霊園・総武霊園・その周辺地域―

長田谷津支線軸は市川市域の中で「水と緑の回廊」として系統的に残っている一番貴重な地区です。

したがって、この地区を将来にわたって保全し、さらに再生･創生することにより、回廊の連続性や生態的質をより高めて、多様性のある生きものの生息･生育場所を確保するとともに、生きものと日常的にふれあえる場所づくりをすることが大切です。

【短期政策】

1）自然観察園の斜面林維持管理マニュアル作成計画

市川市自然環境保全再生指針では生物の生息･生育環境区分ごとに、自然環境を評価し、保全再生の目標と方針、管理上注意すべき点を示しています。

この方向に沿って、早急に維持管理マニュアルづくりを行ないます。

2）バラ園の移転と自然環境復元計画（別添図―1 参照）

① バラ園の現況

バラ園は大町公園の長田谷津南・自然観察園に接して谷津の低地部に設けられ、谷津を生かした自然観察園とは対照的です。現在の噴水池は動物園の排水を受けて調節池の役割を担っており、その掘削土によってバラ園が出来上がっていると思われます。バラ園としては必ずしも良い花が毎年観賞できることにはなっていません。

② 現在のバラ園の環境条件

バラの栽培条件は日照・土質・風通しの３つが必要と言われています。

・日照―谷津という斜面林の底部に位置し日照は良いとはいえません。

・土質―バラは水はけの良い有機質の土壌を好むので、もし噴水池の掘削土を土壌改良したとしても、谷津底部は地下水が高くかつ水はけが悪い環境です。

・風通し―谷津という環境ですので、風通しは良くありません。

以上の通りであり、かつバラは病虫害に弱く、環境条件が悪いほど病虫害が多く発生し薬剤散布を頻繁に行なわれ、下流の水生生物にも影響が考えられます。

したがって、現在の位置はバラにとっても好ましくなく、下流の環境維持のためにも、環境のよい場所に移転することを提案します。

③ 移設の方向性

現バラ園の周囲は自然観察園であり、豊かな多様性のある生息・生育場を目指している事を考えると、移設は必然です。移設場所は日照・土質・風通しが確保で来る動物園入口方面付近が適当でしょう。

④ バラ園後の自然環境復元計画

噴水池は調節池の役割があるので以下のように改修し、現バラ園の中央水路を自然水路に、バラ園跡地は草はらとし、主として昆虫観察エリアに復元します。

3）噴水池の自然環境復元計画

① 噴水池の現況

噴水池の機能として動物園等の調節池を持っていますが、土砂で埋まり浅くなっています。カワセミの格好の観察場所になっていますが、ニシキゴイが多く小魚や水生生物の繁殖が抑えられていると思われます。池は木杭護岸となっており、湿地部分にハナショウブ等を植栽していましたが定着していません。

② 池の自然環境復元計画

池を浚渫して深い部分と浅い部分（岸沿い）にし、水辺と湿地部分は現存植生を基本にした湿生植物ビオトープに改修します。

4）総武霊園緑化計画（別添図―1 参照）

① 総武霊園の現況

緑化状況は墓地や共用空間も含めて、つつじ等潅木植栽がほとんどで南側に 4～5 本ソメイヨシノが植えられているのみです。

総武霊園はもともと谷津の水田部分を埋め立てて造られており、中央の水路は蓋を掛けて園路と休憩場所になっていますが、右岸には幅員 1mの植栽帯につつじが植えられています。また、共用空間としての入り口通路、休憩所・生花捨て場周辺や東側道路・西側道路沿いの植栽帯はすべて潅木植栽のみです。

② 緑化計画

総武霊園の高木植栽を行なうことにより、市川霊園の斜面林と連胆させた樹林帯が創生され、より生物の移動等を始め種の多様性に寄与することができます。したがって、共用空間を中心に郷土種の高木植栽を計画します。予算的に困難な場合は苗木植栽を行ないます。

【中期政策】

1）市川市斎場内及び市川霊園斜面林下道路せせらぎ緑道再生・創生計画

（別添図―1 参照）

① 目的

総武霊園内は支線軸の中で、唯一水路が暗渠になっている部分ですが、墓地配置の関係で水路上のコンクリート蓋を取ることは不可能です。一方、市川霊園の斜面林下の道路は自動車交通も少なく幅員もあり、かつ暗渠には湧水の流入も見られます。
このような状況を踏まえて、市川霊園斜面林下道路にせせらぎを再生することにより、霊園斜面林や総武霊園内緑化計画と相まってこの支線軸をより豊かな自然環境に再生・創生することが出来ます。

② 設計方針

斎場前の水路を一部改修して、水を分流するための堰と水位調整池を作ります。
堰から分流された水を斜面林下に誘導し、幅員 1.5m の「せせらぎ」を以下の点に注意し設計します。

・「せせらぎ」は自然石や荒木田を使用し、生物環境に配慮します。
・コンクリートブロック擁壁は自然石積み法面に改修します。

2．親子ふれあい農園等「水と緑の拠点」自然環境保全･再生･創出計画

―親子ふれあい農園及び周辺地域―

市川北高校北側は以前から水田でしたが、その一角を市川市が地権者の協力を得て小川再生事業を実施し親子ふれあい農園を設けました。現在、地元農家に加わって米っ人くらぶにより水田耕作が行われています。しかし、小川再生事業によって、かえって水生生物の生息環境が阻害された一面もあり、改良が必要です。

【短期政策】

1）水田の取水口改善計画

① 取水口の現状

現在はヒューム管を使い、水路と水田との水生動物の移動が不可能になっています。

② 改善計画

昔のように水路に堰を作り土取水口とし水生動物（クチボソ、タモロコ、メダカ、ドジョウ等）の移動を容易にして生息場所を確保します。

2）水田の冬季灌水計画

昔ながらの田圃では冬にも水を張り、生物やバクテリヤの体系を保ちながら春を待つ冬季灌水耕作栽培をしていました。この方法は、灌水によって水生生物や水辺の野鳥の糞、藻類や水草、田の雑草、残った稲株、落葉等の分解が微生物により早くなり翌年の土つくりをします。まさに、生物多様性を計りつつ、かつ土つくりができる一石二鳥の農法であり、昔からの自然と共存する農民の知恵です。
以上の教訓から、米っ人くらぶの水田の冬季灌水耕作を実施することを提案します。

【中期政策】

1）総武霊園下流コンクリート水路の自然水路改修計画

① 水路の現状

この水路は、花池谷津や総武霊園から流入する親子ふれあい農園北側の水路から親子ふれあい農園東側の水路に入り、大柏川に注いでいます。共にコンクリート壁面の水路になっており、花池谷津からの水路は雑排水が入って水質は悪くなっています。

② 設計方針

両水路とも生物が生息できるよう自然石による空石積みや草土手水路に再生することが望ましいが、特に親子ふれあい農園北側の水路は水田への取水のため堰で止められ、水深が深くなっていますので、水利的検討が合わせて必要です。

3. 花池谷津（大野町四丁目）等「支線軸」の自然環境保全・再生・創生計画

―花池谷津･駒形大神社･その周辺地域―

花池谷津は市川市域において自然状態で残っている唯一の谷津であり、歴史的自然遺産として早急に地権者の協力を仰ぎ、駒形大神社の緑と関連付けながら保全・再生することが求められています。

また、下流の斜面林周辺も谷津形態である斜面林下水路が残っており、これらも「水みち」を復元しながら地域一体的に保全・再生することが大切です。

【短期政策】

1）花池谷津の保全・再生・創生計画（別添図―2 参照）

① 花池谷津の現状

谷津形態としては、駒形大神社下の現少年野球場より上流が残っており、最上流部は町道号線に接し大部分は竹林で、斜面林は荒れた常・落葉混交林になっています。谷部は湧水を伴った葦原湿地帯になっており北側斜面林下の水路から既存道路に沿って中央水路に流入しています。

② 保全･再生･創生計画

・上流部樹林・竹林及び谷津全域の斜面林

里山として保全・再生します。具体的には市民が里山の維持管理、竹炭制作、木工作業等を行えるよう里山プレーグランド設け、指導・助言します。

・低地湿地部

水田やトンボ池を整備し、水田耕作体験や自然観察等環境教育に取り組みます。

・平地部

現少年野球場はそのままとし、里山プレーグランドや草原広場を設けて子供たちに自然の感性を活かした遊びの場所を提供します。

これらの実現に向け、用地確保や運営管理のために次のことを行います。

◆ 市民緑地制度の創設

地権者の協力を仰ぎ、買収することを原則としますが、困難な場合は市民緑地制度を創設し、市民ボランティア・市・地権者が協働し市民緑地として運用します。

◆ プレーパーク制度の導入

面積的にはあまり大きくない谷津ですので、運営維持管理としてプレーパーク制を導入します。市民ボランティアによる維持管理やプレーリーダーを配した子供たちの自然遊びを通して、環境教育・情操教育を行います。

2）花池谷津及び谷津下流北側斜面林下水路の再生計画（別添図―2参照）

① 水路の現状

水路は花池谷津から北側の斜面林下を通り、道路に沿って中央水路に流入していますが、水質は良好で 3 年前の調査ではサワガニも生息しています。下流斜面林下には旧水路があり流木やゴミで埋まっていますが湧水があり、2本の水路で中央水路に注がれています。また、梨選果場の南側に存在していた水路はすでに埋められています。

② 水路の再生計画

湧水を活かしながら水路を再生整備し昔のせせらぎを復元するとともに、斜面林や湿地等と合わせて多様性ある生物の生息環境を創生します。

具体的には、下流斜面林下水路を清掃して再生し、梨選果場南に水路を復活させて花池谷津からの水路と結び、水路の再生を計画します。

4. 柏井青少年の森･姥山貝塚公園等「緑の拠点」自然環境保全・再生・創生計画

―柏井青少年の森･表谷津斜面林･姥山貝塚公園・その周辺地域―

この地域は市川、船橋両市にまたがっており、千葉県の葛南広域公園が予定されています。

市川市として貴重な平地林を持つ柏井青年の森は、以前から自然のキャンパスとしてキャンプ場等に利用されています。また、姥山貝塚公園に連なる表谷津は、すでに開発が進み、安川氏の森の他は若干の斜面林・水路・湧水池が残されているのみですが、動物移動のために最低限、現在残っている「水と緑」の保全が求められます。

【短期政策】

1）柏井青少年の森保全・再生計画

⑴ 雑木林の運営管理マニュアル作成

市川市自然環境保全再生指針では生物の生息･生育環境区分ごとに、自然環境を評価し、保全再生の目標と方針、管理上注意すべき点を示しています。

この方向に沿って、早急に維持管理マニュアルづくりを行ないます。

⑵ 湧水池及び水路の再生

① 湧水池及び水路の現況

湧水池は土砂に埋まり雨後以外は干上がっています。雑木林下の水路は数箇所の湧水によって流れを作っていますが、枯れ木や粗大ゴミで埋まっています。

② 土水路の再生計画

遊技場からの雨水排水処理を船橋市と調整し、埋まっている湧水池を掘削すると共に、土水路の清掃をして、湧水を生かしながらせせらぎを復元し、雑木林と合わせて多様性のある生物生息空間を再生・創生します。

予算も余りかからない事業でもあり、市民ボランティアを募って早期に実施します。

2）姥山貝塚公園の展示改良及び斜面林保全計画

姥山貝塚の出土品展示や貝塚形態等もっと具体的に分りやすく展示方法を改良します。

なお、隣接する斜面林は貝塚と一体的な遺跡であり、公有地化し保全します。

3）安川氏の森保全・再生計画

船橋法典高校の南側に接して、約 10ha におよぶ安川氏の私有林があります。この森は表谷津の斜面林から台地部の平地林へと連続し、鬱蒼とした混交林で猛禽類の営巣も見られ、生物多様性のある自然環境を持っています。

したがって、柏井青少年の森と同様にこの地域では非常に貴重な緑の資源であり、早急に保全が必要です。

行政区域としては船橋市域ですが、千葉県葛南広域公園の予定もあり、当面は船橋市と協議して市民緑地制度を活用する等保全の働きかけを行います。

【中期計画】

1）千葉県葛南広域公園計画

市川・船橋両市にまたがる柏井青少年の森周辺の緑地は、「水と緑」の資源が豊かです。

千葉県はこの地域を広域公園に予定していますが、年々墓地や住宅開発が進んでおり、出来るだけ早く千葉県葛南広域公園として位置づけることが重要です。

以上のことを踏まえて、早急に、船橋市と調整し広域公園の都市計画決定が出来るよう千葉県や地権者等関係者に働きかけます。

2）表谷津斜面林及び湧水池の保全・再生計画

① 表谷津の現状

表谷津はすでに開発が進み、緑地は安川氏の森以外まとまって残っていません。ほんの一部表谷津緑地として公共緑地になっているのみですが、一部には斜面林と一体的になった湧水池も残っています。

② 保全・再生計画

生物の移動等のために最低限今残っている斜面林を保全することが大切で、中長期の目標を立て公共緑地として保全します。

5.大柏川第一調節池等「水と緑の拠点」自然環境保全・再生・創出計画

―大柏川第一調節池・北方ミニ自然園・市民プール・柏井調節池・洞川大柏川・下貝塚三丁目地域―

この地域は表谷津から大柏谷に出た平坦な開けたところです。

ここには、表谷津の宅地開発に伴う柏井調節池、大柏川の治水施設で水辺プラザ事業として自然環境復元・創造が市民協働で行われた大柏川第１調節池、これに接して市民ボランティアが取り組んでいる北方ミニ自然園、市川東高校周辺の水路に沿った桜並木の遊歩道等、宅地化が進む中で多くの水と緑の拠点が散在しています。

【短期政策】

１）柏井調節池自然環境再生･創出計画（別添図―３参照）

① 柏井調節池の現状

面積約3ha の調節池は常時水を湛えており法面はコンクリートブロックで作られています。堤防上は約4m～8m の幅がありますが、外側を高いフェンスに囲まれて市民が散策等で利用できない空間になっています。

② 自然環境再生・創出計画（別添―図参照）

外周のフェンス取り外し、堤防法面肩に低い柵を設けます。

堤防上は高木・低木を植栽して散策路を設け、市川東高校方面への桜並木と結びつけます。

堤防法面の一部を蛇篭土手（法面下部）や草土手（法面上部）に改修し、池内には浮島を設けます。生物の生息空間を確保すると共に、一部掘削して釣堀エリアを設けます。

２）大柏川第一調節池緑地自然環境復元計画（別添図―４参照）

2007 年６月末に開園しましたが、北部広場や堤防上は植栽も少なく、棚池内や周辺園路の自然環境復元も始まったばかりです。

⑴大柏川第一調整池緑地の補植植栽計画

北部広場及び外周堤防は植栽密度が低く高木植栽の補植が必要です。今後、市民参加のワークショップ「北方遊水池の会」で決定した内容で、補植植栽を行います。

⑵ 大柏川第一調節池緑地整備計画

開園してほぼ１年経過し、市民に対する自然観察を始めとする利用しやすさの改善が必要です。「北方遊水池の会」で検討された下記計画を行います。

① 棚池 1-2 の水辺改良と八橋整備計画

この最上段の棚池は開放された区域の中で一番大きな池で、自然とのふれあいを積極的にすすめる池です。安全に水辺の自然を観察できるように池をまたぐ八橋を整備します。

② 北東部角法面下ビオトープ整備事業

このエリアは堤防下からの湧水があり、浅いトンボ池を設けます。北方ミニ自然園方面から棚池部へアカガエル等小動物の移動にも中継地になります。

３）大柏川第一調節池緑地の運営管理マニュアル作成計画

市川市自然環境保全再生指針に沿い、ゾーニングして運営管理マニュアルを作成します。生

態系調査を継続して行い、そのモニタリング結果でゾーニング及びマニュアルを見直します。市民との協働で自然環境復元の取り組みを進めます。

【中期政策】

〔大柏川中流域「水と緑」総合計画〕（別添図－５参照）

大柏川中流域は市街化の中で、市内最大級の緑地・大柏川第一調節池や市民ボランティアが自然環境復元・環境教育を行っている北方ミニ自然園、さらに柏井調節池と桜並木の遊歩道など「水と緑」の資源が多く存在します。

一方、市街化に伴いスポーツ・レクリエーションの要望も高まり、既存の市民プールの改修や運動公園計画・用地買収が進んでいます。

将来は、この地域はプールや運動場等スポーツ系の「動」の施設と、自然環境復元された調節池、北方ミニ自然園、桜並木というネーチャー系の「静」の緑地ができます。したがって、これらを個々に整備するのではなく、「静」と「動」の施設が一体となって「水と緑の回廊」を形成し地域全体のエコアップになるよう、関連付けて計画することが大変重要です。

以上を踏まえて、この大柏川中流域全体のまちづくりを「水と緑」総合計画とします。

１）柏井調節池自然環境再生･創生計画―前項「短期政策」参照

２）大柏川第一調節池緑地自然環境復元計画―前項「短期政策」参照

３）北方ミニ自然園保全計画

(1) 北方ミニ自然園の現状

① 今までの活動経過

北方ミニ自然園は面積 2,000 ㎡程の農地です。1998 年から市民ボランティア・緑のみずがき隊が、休耕田をトンボ池、ホタル水路、教育水田などに整備してきました。当初は治水上の水田雨水貯留地区に入っていたので市の仲介で使用していたが、2002 年度をもって同制度が廃止され、現在は直接地権者の厚意により利用しています。2002 年、2006 年に同隊は市川市へ公有地化を含めた同園の保全を求める要望書を提出しています。

② 自然環境状況と活動内容

・自然環境状況

現在は北側中央の草原広場を中心にして、四つのビオトープ池、６枚の田んぼ、その他ハス池やアシ原となっています。なお、水神様を祭る湧水もあり、昔の大柏谷の環境がコンパクトに再現されています。

カエル、トンボ、ホタル、ドジョウなど様々な里山の野生生物が生息し、特に千葉県レッドデータブックで最重要保護生物に選定されているニホンアカガエルが毎年繁殖しています。また、隣接する大柏川第一調節池緑地で動植物が復活する際の供給源にもなっています。

・活動内容

緑のみずがき隊は、地権者や地元農家の方々の理解・協力を得て、自然環境の復元・整備を行ない、開設当初から環境教育プログラムが実施されています。また、2000 年からは同

隊の補佐のもとで近隣小学校が理科の自然観察や総合学習の稲作などを実践し、地域に密着した体験学習の場となっています。長年にわたり築かれてきた地域連携はかけがえのない人的資産です。

⑵ 保全計画

① 北方ニミ自然園の価値と評価

北方ミニ自然園の価値として、伝統的な水田環境のビオトープ、伝統的な水田環境の文化財、地元住民・農家や市民ボランティアと連携して近隣小学校が利用する人的資産、大柏川第一調節池緑地の自然環境復元の原点、同緑地との一体的な利用があります。このように小面積ながら貴重な緑地となっています。

② 今後の保全計画

水と緑の拠点を拡充するため、北方ミニ自然園は次項の北方総合公園の整備と合わせて公有地とします。そして、地元住民・農家、近隣小学校、市民ボランティアと協働して大柏川第一調節池緑地と一体的に保全・利用します。

4）北方総合公園計画（別添図―6参照）

この総合公園は市民プールを始めとするスポーツ系の「動」の施設と大柏川第一調節池緑地や北方ミニ自然園などによるネーチャー系の「静」の緑地をひとまとめにした公園計画です。ネーチャー系は前述の通りですが、スポーツ系の計画は、下記の通りです。

この市川北東部には、現在、複合スポーツ施設は整備されていませんが、2007 年に策定された「市川市スポーツ振興計画ー中期事業計画」では「既存の市民プールなどと整合性を図り、体育館や球技が可能なスペース等の整備を目指します」としています。すでに一部市民プール北側では用地買収が行なわれていますので、さらに市川松戸道路まで公有地化し市民プールの改修に合わせて多機能複合スポーツ公園を設けます。

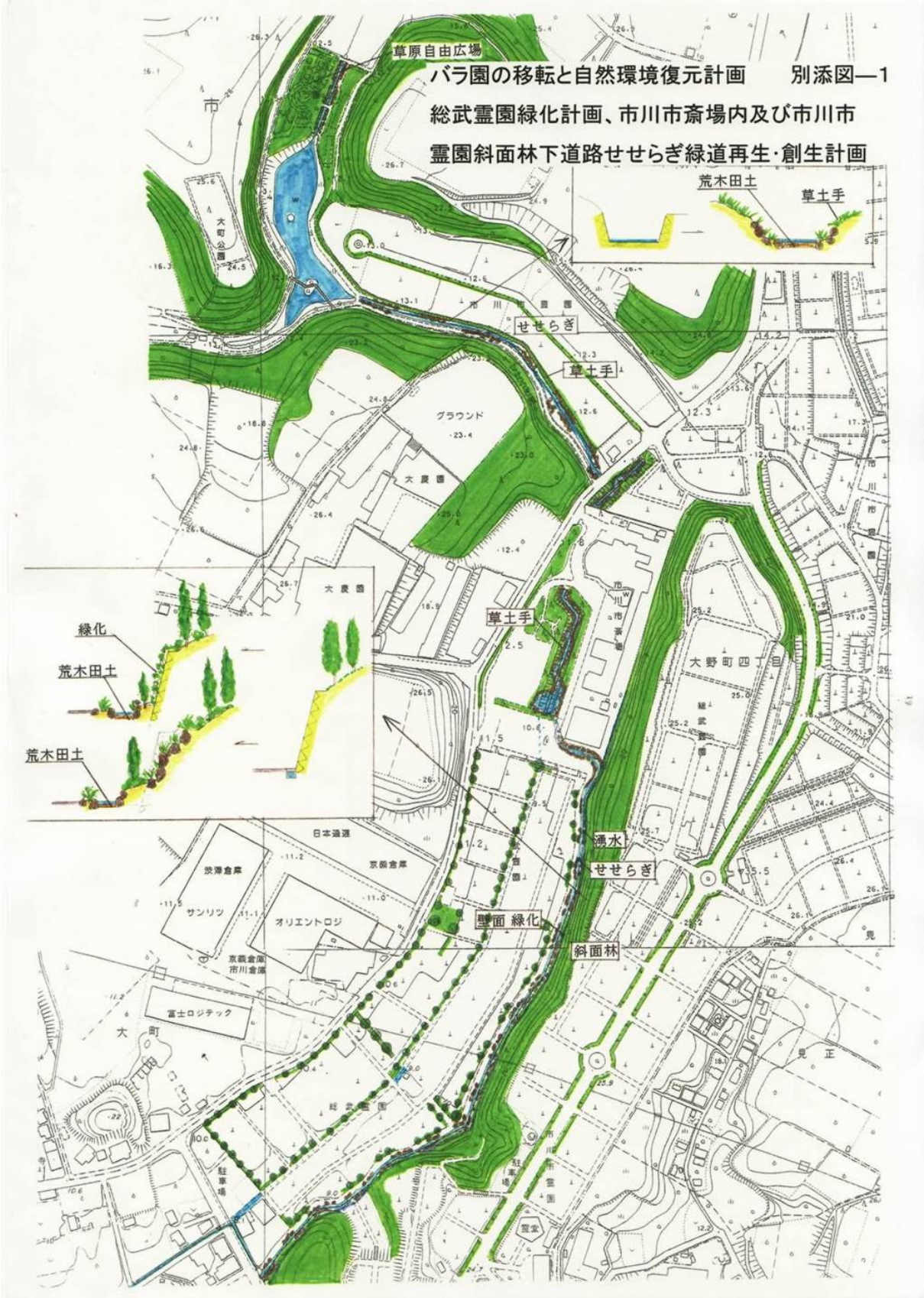
多機能複合スポーツ公園の設計内容としては、子供から老人まで広く市民に利用できる施設として、管理棟を始めちびっこ広場・市民プール・テニス・野球・サッカー・ラグビー・グランドゴルフ・ゲートボール・駐車場を配置します。

スポーツ施設でも生きものにとって生息や移動ができるように連続した植栽を多くし、水と緑の回廊の一部として機能するようにします。また、大柏川第一調節池緑地や北方ミニ自然園のネーチャー系との間に雑木林の緩衝緑地帯を設け、野生動植物の生息環境を守ります。

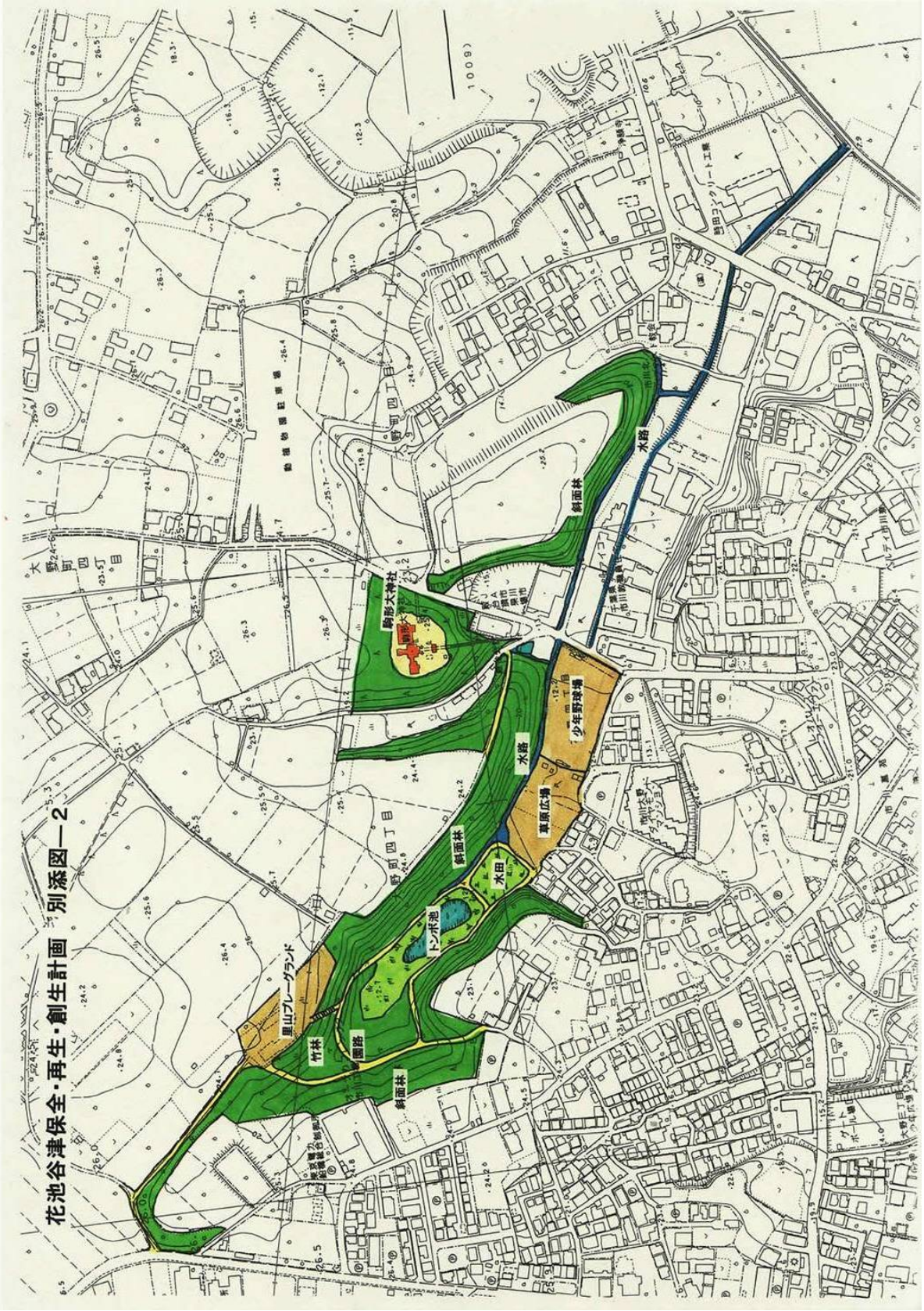
5）地域緑道計画（別添図―5 参照）

前述の柏井調節池や北方総合公園を多くの人がより有効に利用するため、バス停や船橋法典駅と結ぶ地域緑道（道沿いに連続して木を植えた遊歩道）を設けます。人にとってはアクセスを確保しますが、生きものとっては木々の重なりで生息や移動を可能にします。この緑道を柏井調節池・大柏川第一調節池緑地・北方ミニ自然園など「水と緑の拠点」を結ぶ「水と緑の回廊」へ育成します。

以上。


バラ園の移転と自然環境復元計画　別添図—1
総武霊園緑化計画、市川市斎場内及び市川市
霊園斜面林下道路せせらぎ緑道再生・創生計画
草原自由広場
荒木田土
草土手
せせらぎ
草土手
グラウンド
大農園
草土手
緑化
荒木田土
荒木田土
湧水
せせらぎ
壁面 緑化
斜面林
大野町四丁目
日本通運
京義倉庫
サンリツ
オリエントロジ
富士ロジテック
大町

政策提言別添図-1


花池谷津保全・再生・創生計画　別添図―2
里山プレーグランド
竹林
園路
斜面林
トンボ池
水田
斜面林
水路
草原広場
少年野球場
斜面林
水路
駒形大神社
斜面林
水路
(1009)

政策提言別添図-2

柏井調節池自然環境再生・創出計画 別添図—3
サクラ並木
緑道
排水口
横越流堤
緑道
サクラ並木
浮島
つり堀
ジャカゴ土手
草土手
人工浮島
久喜市清久工業団地調節池つり

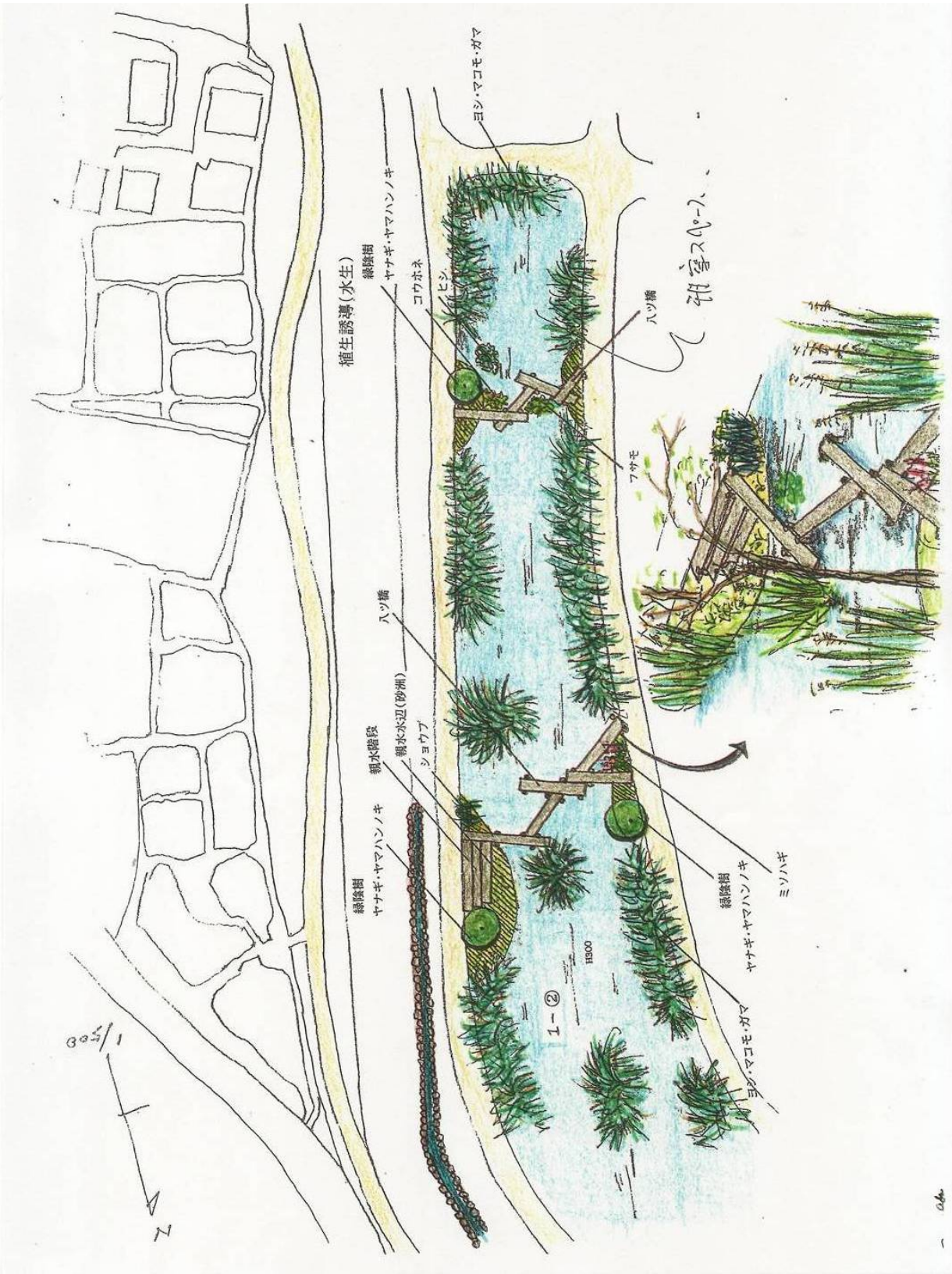
政策提言別添図-3

大柏川第一調節池緑地自然環境復元計画
大柏川第一調節池緑地整備計画
別添図—4
八ツ橋(観察用)
樹林(雑木林)
石またはソダ(枝・竹)
浅溜まり池(100～150)
こも れ日の樹林(生物の多様性の空間)
多孔質環境の構成
湧水・水路
ヨシ・マコモ・ガマ
親水水辺(砂州)
八ツ橋
八ツ橋
湧水・水路
親水水辺(砂州)
1—②
H500
ヨシ・マコモ・ガマ
駐林
八ツ橋(鑑賞)
八ツ橋(観察・親水・ザリガニ釣り等)
親水池
自然とふれあい楽しむ空間

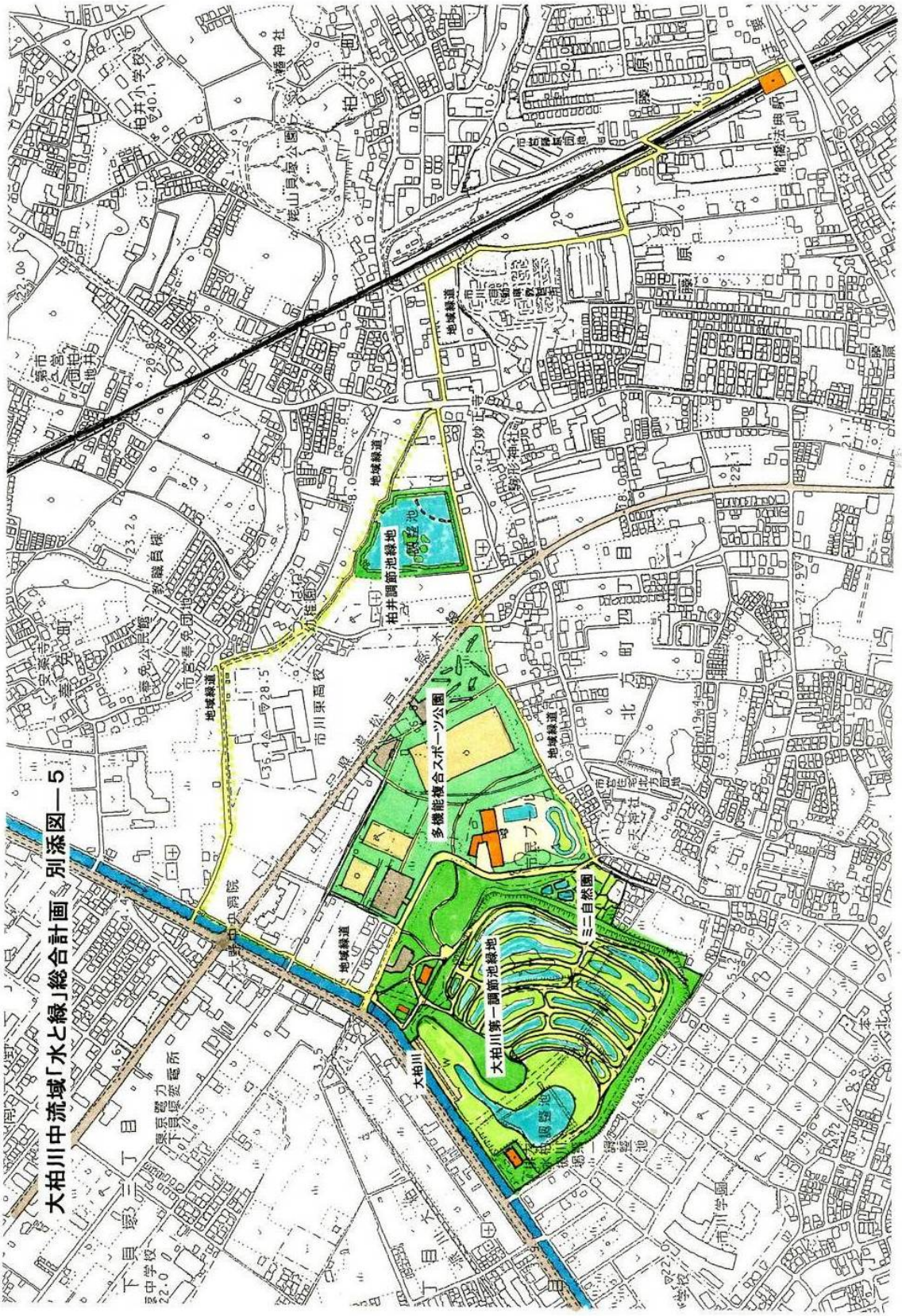
政策提言別添図-4

浅溜まり池断面イメージ
水深100～150
こもれ日の樹林（生物の多様性の空間）
多孔質環境の構成
ヤマハンノキ・エノキ・クヌギ・コナラ
アカシデ・ヤブツバキ・ヤブニッケイ
トベラ・ヒサカキ・ニシキギ・マユミ・ヤマブキ等
湧水の利用（湧水・水路）
浅溜まり池
カエル・メダカ・モズクガニ・ホタル
湧水の利用（湧水・水路）
石またはソダ（枝・竹）
ショウブ
植生誘導
H100～150
八ツ橋（観察・親水：ザリガニ釣り等）
ミツハギ
ヨシ・マコモ・ガマ
2
1－②
シュスタマ・イグサ
親水水辺（砂洲）
ヤナギ・ヤマハンノキ
ハス
イメージパース
ショウブ
八ツ橋（観賞）
イメージパース

政策提言別添図-４の２


植生誘導(水生)
緑陰樹
ヤナギ・ヤマハンノキ
緑陰樹
ヤナギ・ヤマハンノキ
親水階段
親水水辺(砂洲)
ショウブ
八ツ橋
コウホネ
ヒシ
ヨシ・マコモ・ガマ
八ツ橋
フサモ
緑陰樹
ヤナギ・ヤマハンノキ
ミソハギ
ヨシ・マコモ・ガマ
1-②
H300
1/500
N

政策提言別添図-４の３


大柏川中流域「水と緑」総合計画　別添図―5
地域緑道
柏井調節池緑地
多機能複合スポーツ公園
大柏川第一調節池緑地
ミニ自然園
大柏川
市川東高校
柏井小学校
八幡神社
菅面公園
船橋法典駅
市川学園

政策提言別添図-5

北方総合公園計画　別添図―6
（大柏川第一調節池緑地・多機能複合スポーツ公園・ミニ自然園）
大柏川
横越流堰
下池
浮島
堤防遊歩道
大柏川第一調節池緑地
棚池
ビジターセンター
緑道
駐車場
雑木林
水田
ミニ自然園
管理棟
体育館
市民プール
多機能複合スポーツ公園
野球・サッカー・ラグビー
ちびっ子広場
テニス
ゲートボール
グランドゴルフ

政策提言別添図-6